

## 会議録

会議の名称	平成28年度第1回弘前市子ども・子育て会議
開催年月日	平成28年8月19日(金)
開始・終了時刻	14時00分から 16時00分まで
開催場所	ヒロロスクエア3階 多世代交流室2
議長等の氏名	佐藤 三三
出席者	佐藤 三三 会長 黒滝 明人 副会長 藤田 俊彦 委員 鈴木 鉄一朗 委員 笹森 麻野 委員 外川 きさ 委員 小田切 愛乃 委員 健康福祉部長 竹内 守康 委員 竹村 陽華 委員 中村 ゆき 委員
欠席者	井澤 優子 委員 加藤 知明 委員 奈良 充生 委員 教育部長 野呂 忠久 委員
事務局職員の職氏名	子育て支援課 健康福祉部理事 須藤 悟 課長 菅野 昌子 課長補佐 石田 剛 児童育成係主幹兼係長 間山 博樹 主査 長内 恒明
会議の議題	(1) 弘前市子ども・子育て支援事業計画実施状況について (2) 平成28年度の教育・保育施設利用状況について (3) 待機児童解消案について
会議結果	事務局案で委員の了承を得る。
会議資料の名称	資料1-1 弘前市子ども・子育て会議の役割について 資料1-2 弘前市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について 資料2 平成28年度の教育・保育施設利用状況について 資料3 弘前市待機児童解消案

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<p>1 開会 2 案件 3 その他 3 閉会</p> <p><b>案件1 弘前市子ども・子育て支援計画実施状況について</b> 事務局より資料1に沿って説明。</p> <p><b>【議長】</b> ありがとうございました。 何かご質問等や、あるいは、ただいまの説明についてもう少し詳しく聞きたい等はございませんか。 (委員からの発言・質問等なし。)</p> <p><b>【議長】</b> よろしいようですので、続いて第2案件の平成28年度の教育・保育施設利用状況についてご説明願います。</p> <p><b>案件2 平成28年度の教育・保育施設利用状況について</b> 事務局より資料2に沿って説明。</p> <p><b>【議長】</b> ニュースで問題の意になっている待機児童であるが、弘前の場合は、8月時点ではいないということでよろしいか。</p> <p><b>【事務局】</b> はい。</p> <p><b>【議長】</b> ただいまの説明を踏まえて、ご質問・ご意見等ございますか。 (委員からの発言・質問等なし。)</p> <p><b>【議長】</b> それではただいまの現状についてはご理解いただいたということでおろしいでしょうか。 (委員からの発言・質問等なし。)</p>
---	---

**【議長】**

それでは、続いて第3の案件「待機児童解消案について」のご説明を願います。

**案件3 待機児童解消案について**

事務局より資料3に沿って説明。

**【議長】**

皆様からただいま提示していただいた解消案について、ご意見・ご感想でも構わないので、積極的にご発言いただきたい。

**【委員】**

先程の待機児童の状況も含めてお話しさせていただくが、8月時点での保留児童が87名ということだが、一時預かりを利用しているだとか認可外保育施設を利用しているだとか家庭状況の内訳が見えないので、把握しておく必要があるのではないか。

解消案については、全部実施されることを望む。

ただし、「④入所児童の入替」については、善し悪しがある。

施設で保護者対応をしているなかで、家庭状況によっては施設を去ることが望ましくない場合もあるので、施設と十分情報共有をするということを前提にしていただきたい。

また、保育の利用について悩みを抱える保護者等に対して、利用をコーディネートする、コンシェルジュ・コーディネーターの設置による利用者支援事業を解消案の中に入れるよう再検討してもらう必要性を感じる。

**【議長】**

重要なご意見ありがとうございました。

保留児童の家庭の状況について、事務局ではどの程度把握しているのか。

**【事務局】**

申込時の家庭状況は把握しているが、その後の状況として、例えば実際にどのような就職活動を行っているかまでは市の方では把握しづらい。そういう部分では、施設側の方が情報を持っているのではないかと思う。

**【委員】**

利用調整に係る弾力的運用の拡大について、「2・3号定員の

	<p>合計人数まで相互に利用可能とする」とあるが、これは5月以降も同様ということでよろしいか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>そのとおり。</p> <p>4月だけではなく、4月からということで捉えていただきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、「3号定員の通常枠(求職中でも使用できる枠)を100%から105%に拡大」の部分について、施策としてはいい案ではあるが、3号定員の5%となると、大部分の施設では1人程度になるのではないか。更に、設備・面積基準等の関係で1人もとれない施設も出てくるではないか。そうなると、この5%拡大の効果としての50人増という数字に疑問を感じる。</p> <p>次に、「(2)保育士の確保」の中で、施設への利用調整結果の通知を2月上旬に早めるとあるが、養成学校では12月の段階で就職が決まっていない生徒は数名程度と聞くし、首都圏ではもっと早い。したがって、利用調整結果を待って保育士の確保に動くのでは遅すぎるということは明らかであるので、採用する側としても努力は必要であるが、決定事項ではなくとも保育士確保に動けるような情報を年明け前にいただければと思う。</p> <p><b>【議長】</b></p> <p>事務局の方でこれからご検討いただきたい。</p> <p>重要なご指摘ありがとうございました。</p> <p>そのほかにはいかがでしょうか。</p> <p>(委員からの発言・質問等なし。)</p> <p><b>【議長】</b></p> <p>それでは、これで議長の務めを終えさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
その他必要事項	<委員了承> 会議は公開